

中ノ倉峠展望地整備事業

■事業概要

平成25年6月、富士山が世界文化遺産に登録されたことを機に、環境省では、遺産地域の大部分を占める富士箱根伊豆国立公園の保護管理の充実と質の高い利用を図っていくこととし、その具体策の一部として、富士山を眺望するのに適した山麓等での展望施設整備(以下、「富士山ビューポイント整備」という。)を進めています。

中ノ倉峠は富士箱根伊豆国立公園(富士山地域)に位置し、富士山・本栖湖、そして湖畔の自然からなる優れた景観を誇る景勝地です。本整備事業では、中ノ倉峠に展望施設を整備すると共に、展望地周辺及び展望地に繋がる登山道入口に案内標識などの標識類を整備するものです。

■事業位置図

中ノ倉峠(山梨県南巨摩郡身延町)は、本栖湖西岸の山麓に位置します。そのため、本栖湖面に映る美しい「逆さ富士」を臨むことができ、中ノ倉峠から写真家の岡田紅陽が撮影した「湖畔の春」は、日本の紙幣の図様(旧五千円札、現一千円札)として採用されました。



■整備目標

当該ビューポイントの魅力源である富士山、本栖湖(逆さ富士等含む)及び湖畔の山々や自然の眺望、これら魅力源の解説や情報の提供によって、富士山の魅力(風景、自然、文化)を伝える施設を整備します。

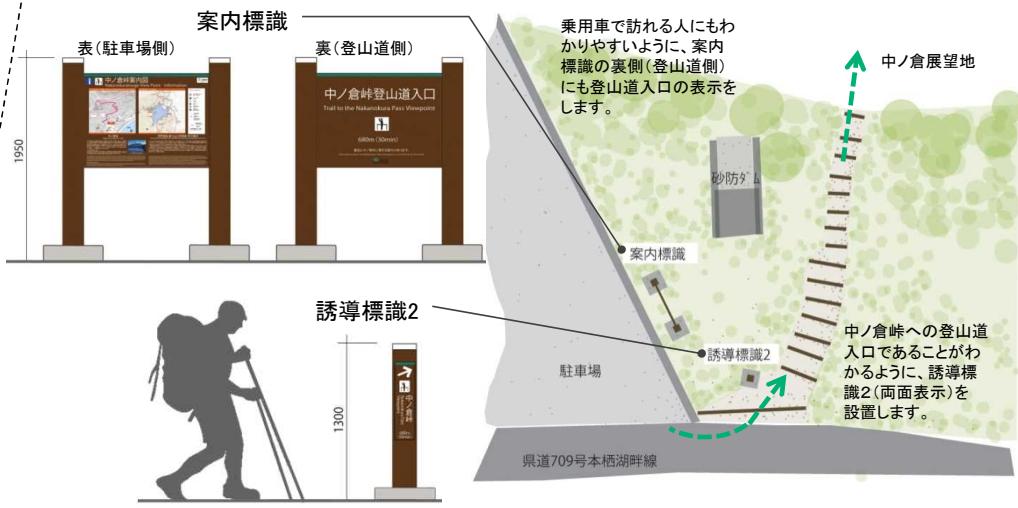
■整備内容

本整備事業では以下の整備を行います。

整備施設	主な材質	数量
展望台(階段型) ※転落防止柵一体型	デッキ材:木材 構造材:アルミ	1箇所
解説標識	支柱:木材 表示面:アルミ複合板	1箇所
注意喚起標識	支柱:木材 表示面:アルミ複合板	1箇所
誘導標識1(展望地)	支柱:木材 表示面:アルミ複合板	1箇所
誘導標識2(登山道入口)	支柱:木材 表示面:アルミ複合板	1箇所
案内標識(登山道入口)	支柱:木材 表示面:アルミ複合板	1箇所



■登山道入口 整備平面図



■中ノ倉峠展望地 整備平面図

